

## 令和3年度事業報告書

学校法人かえで学園

### I. 法人の概要 (令和4年3月31日現在)

#### 1. 設置する学校 かえで幼稚園

2. 園児数 定員 80名 (3歳児:20名、4歳児:30名、5歳児:30名)

在籍園児数 43名 (3歳児:9名、4歳児:17名、5歳児:17名)

<※:在籍園児数については、令和3年5月1日現在>

#### 3. 役員・教職員等の概要

(1) 役員の数 理事 7名、監事 2名、評議員 15名

(2) 教職員の数 常勤教諭 4名(園長1名、教諭3名)、非常勤教諭 4名、事務職員 1名

### II. 令和3年度事業の概要 (目的及び進捗状況)

幼児期の教育が将来の人間形成の礎となっていくとの基本的姿勢に立って、かえで幼稚園に於いて以下の諸施策を講じ、キリスト教精神による人格育成を行ってきた。

#### 1. 経営計画と実践

##### (1) 幼児教育の充実と経営基盤の安定化に向けた施策

###### ① キリスト教保育の充実

・日本のキリスト教幼児教育の歴史を担い続けている幼稚園としてその使命を自覚し、今日の幼児教育の中で基本的なキリスト教保育の立場をはっきりとさせた人間教育、人格教育に努めている。新保育指針や新保育要項についての学びなども重ねながら、これまでの園の歩みを大切にしながら進んでいる。

本年度も新型コロナウイルス禍は収束せず、園内外に於ける諸活動が制限を受ける状況が続くこととなった。保育計画に大きな位置を占めるキリスト教行事や運動会なども規模を縮小して行い、教諭たちの学びとなるキリスト教保育連盟の夏期講習会、東海部会夏期研修会、静岡クラブ会の例会等もオンライン開催や中止となった。毎月のキリスト教主事による「キリスト教保育」誌を中心とした学びは積極的に行われ、教諭たちはキリスト教保育の内容を深め、キリストの愛に根ざした人格教育に与り、園児一人一人が教師と共に成長して行けるよう具体的な保育活動を展開している。これまで園児たちは日本基督教団静岡教会に年に数回出向き、教会礼拝を守り、同時に音楽教育を受けていたが、本年度は新型コロナウイルス禍と静岡教会の会堂新築工事のためにそれも出来なかった。そのためクリスマスなどを捉えて、キリスト者音楽家によるミニコンサートを昨年同様計画し、神の祝福の内に置かれる幸いを体験する機会を備え、また感受性を磨き高める時をもっている。

幼児教育全般については偉大な先駆者達から今日に至るまで引き継がれる人間理解と幼児教育の伝統、子どもたちの創造性を十分に伸ばす実践等を基礎とし、人として真に必要な心と視点を捉え直し、神と自他を愛し平和を築く子どもたちの成長を促している。

・土曜日の「こひつじ広場」は、未就園児から小学生までを対象として、9時～11時30分に礼拝を中心として行い、キリスト教主事の日本基督教団静岡教会教師が関わっている。

本年度は新型コロナウイルス禍の中、出席する子どもたちの数は少ないが、活動を続けてきた。卒園した子どもたちの交わりの場ともなっている。

## ② 理事会、評議員会

- ・理事会、評議員会を2回開催した。新型コロナウイルス禍にあっても、理事・監事・評議員の方々のご協力を得て、無事行うことが許された。幼児教育無償化となり、またいわゆる幼保一元化の議論が社会状況を含む形で為される中、幼稚園本来の使命を自覚して歩んでいる。理事、監事、評議員の方々には財政的に充分とは言えない経営状況を踏まえながらも、子どもたちの健康と成長について常に温かな思いで祈りながら責任を担ってくださる。そして理事会は評議員会から具体的意見や評価を聴きながら幼稚園経営に携わり、円滑な園運営を図って、その責任を担い続けている。

令和3年度の理事会、評議員会は以下の通りである。

### A. 理事会

#### 第1回（令和3年5月27日）

- ・令和2年度事業報告の件
- ・令和2年度決算の件
- ・令和3年度第1回予算補正

#### 第2回（令和4年3月24日）

- ・かえで幼稚園駐車場用地購入の件
- ・施設設備引当特定資金取り崩しの件
- ・令和3年度第2回予算補正の件
- ・令和4年度事業計画の件
- ・かえで幼稚園園則一部変更の件
- ・かえで幼稚園の今後の経営形態に関する件
- ・教員停年再雇用継続の件
- ・令和4年度予算（当初）の件

### B. 評議員会

#### 第1回（令和3年5月27日）

- ・令和2年度事業報告の件
- ・令和2年度決算の件
- ・令和3年度第1回予算補正

#### 第2回（令和4年3月24日）

- ・かえで幼稚園駐車場用地購入の件
- ・施設設備引当特定資金取り崩しの件
- ・令和3年度第2回予算補正の件
- ・令和4年度事業計画の件
- ・かえで幼稚園園則一部変更の件
- ・かえで幼稚園の今後の経営形態に関する件
- ・令和4年度予算（当初）の件

### ③ 予算編成

令和3年度は園児数が前年度よりもかなり減少したため、当初予算段階では単年度赤字をかなり見込んだ予算編成を行った。その中で大口の寄付金があり、また新型コロナウイルス禍に於いても幼児教育無償化実施による保育料収入の安定が助けとなった。また補助金が一昨年並みであったことや、感染症禍に伴う保育活動の縮小と活動費支出の減少もあり、年度末には落ち着いた予算補正を行うこととなった。しかし園児数の大幅な減少は4年度に続くため、4年度の予算編成については大幅な赤字を計上している。繰越支払資金に助けられ、資金繰りに問題なく財務処理は進められるが、基本的には園児数の増加無くして経営の安定は生じない。少子化の波が大きくなる中、単年度収支の均衡がとれた会計状況を生むためには、幼稚園の設置目的であるキリスト教保育が地域社会に理解され、一人でも多くの子どもたちが入園するように経営努力を推し進めねばならない。今日のような世界情勢と社会不安の中で、安全安心な園として、また人格を大切に育てる園として、保護者の方々が子どもたちを是非とも通わせたいと願う園造りが出来るよう、教職員一体での努力が続けられることとなる。

## (2) 園児増加に向けた施策

### ① 保育内容の充実と広報活動の実施

- ・子どもたちの賜物が見出され、創造力の成長を導くことができるような教育、平和を願う心を育てる教育が出来るよう心がけている。心身に課題を抱える子どもたちも増えており、これまでキリスト教保育が為してきた人格を大切に育てる歩みに一層の充実を図って行きたい。保育の計画に新型コロナウイルス拡大防止関係の制約がまた掛かってくるかもしれないが、その時々祈りながら対策を採り、子どもたちのために保育内容の充実を具体化して行きたい。
- ・年度末に幼稚園正面の土地を約30坪購入し、教育活動のための駐車場を確保できた。園児の送迎や行事の際の駐車など多くの面で活用出来る。これも園児の増加に向けた取り組みの一つとなろう。
- ・保護者による口コミや未就園児の集まりの“かえて広場”などを通じて、年度中も入園を希望してくる方々が多く見られる。静岡ホームの子どもたちも喜んで園に通っている。インターネットのホームページは多くの人々の目に触れており、県外からの引越に伴う問い合わせも増えている。今後もホームページ等の広報活動の充実を図っていくと共に、かえて広場（未就園児）の集いに力を注ぎたい。

### ② 通園バス利用促進

- ・通園バス運転手は責任を持った運転業務を為しておられる。自動車保険も強化しているが、何よりも安全運転に心掛けた運行が求められる。バス運行の有無が園児募集に於いても大きな要素の一つとなっている。
- ・通園バスは園外保育にも活用され、知育面での発達を醸成する一助となっている。
- ・運転手及び添乗教諭は、通園時の安全面を重視し、今後も運行に心掛ける必用がある。